

特別支援教育研修会

特別支援学級での授業展開について

西部教育事務所

特別支援学級には、同じ障害種であっても、異学年の児童生徒が複数在籍する学級が多くあります。

異学年複数在籍の場合には、授業展開の工夫が必要となります。

その際のアイデアの一つとして、学年ごとや教科ごとにグループ分けし、**直接指導**（教師から直接指導を受ける場面）と**間接指導**（児童生徒が主体的に学習する場面）を**交互に実施**することが考えられます。

また、特別支援学級を担当する教員の専門性として、各教科等での目標が異なる児童生徒を同時に指導する実践力が求められていますので、少しずつ身に付けていきましょう。

【展開例】

1年生 (A)	1年生 (B)	3年生 (C)
直接指導	間接指導	間接指導
間接指導	直接指導	直接指導
直接指導	間接指導	間接指導
間接指導	直接指導	直接指導
	間接指導	間接指導
	振り返り	

1年生 (A・B)	3年生 (C)
直接指導	間接指導
間接指導	直接指導
直接指導	間接指導
間接指導	直接指導

➡ 教師の動き

あまりこまめに直接指導と間接指導を繰り返すと全体の落ち着きがなくなります。

※同じ学年に複数名いる場合、集団指導や学び合いを加えることも考えられます。

【直接指導】

障害の状態、理解の状況に応じた学習内容の変更・調整を行います。

基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させる視点から指導内容を適切に設定するなど、効果的に指導する必要があります。

障害の状態、理解の状況に応じて、教育方法を検討し実施します。
(個別の知能検査の結果を参考にし、効果的な指導方法で実施します)

<効果的な指導方法の例>

- ・視覚情報を活用（写真や図面、模型、実物等の活用）
- ・扱いやすい道具を準備したり、補助具を効果的に利用
- ・拡大文字、ルビ振りなどの教材の提供 ・具体的な活動場面の設定
- ・ICT機器の活用（パソコン、タブレット端末、デジタルカメラ等の使用等）

【間接指導】

児童生徒の実態や理解の状況に応じた手立てや課題を設定します

- ・ 意欲的に取り組める内容
- ・ 一人で取り組める内容
- ・ 教科の学習につながる内容
- ・ 自己肯定感、達成感が高まる内容

適切な課題の設定（質や量）や学習時の約束事がなされていない場合、つまりいた段階で、直接指導をしている教師に話しかけたり、集中力が続かなかったりするなど活動が滞ります。

POINT

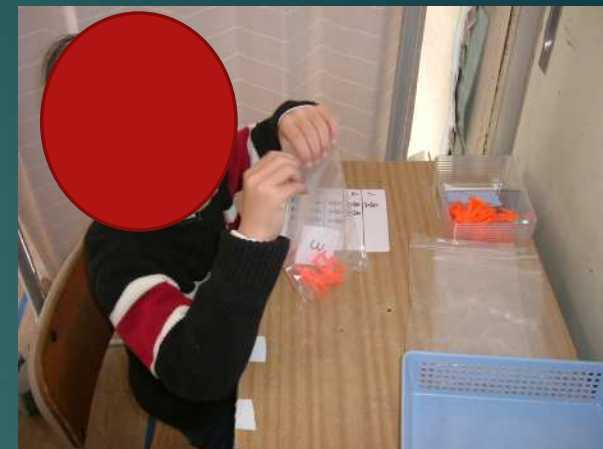
○つまづいた時に何を見たらよいかを事前に準備し、提示しておきます。

例えば、前時の板書の写真、参考となる教科書のページ、タブレット端末など

○主体的に取り組み、自己肯定感が高まるような時間にするためには、質や量を調整し、達成感を得られるようにします。



市販されている教材（プリント集やドリルなど）も有効に活用しましょう。プリント集やドリルばかりでは、活動が滞ることがありますので、具体物
を操作する学習も取り入れていくと有効です。



授業展開をスムーズに行うために

構造化 を行う

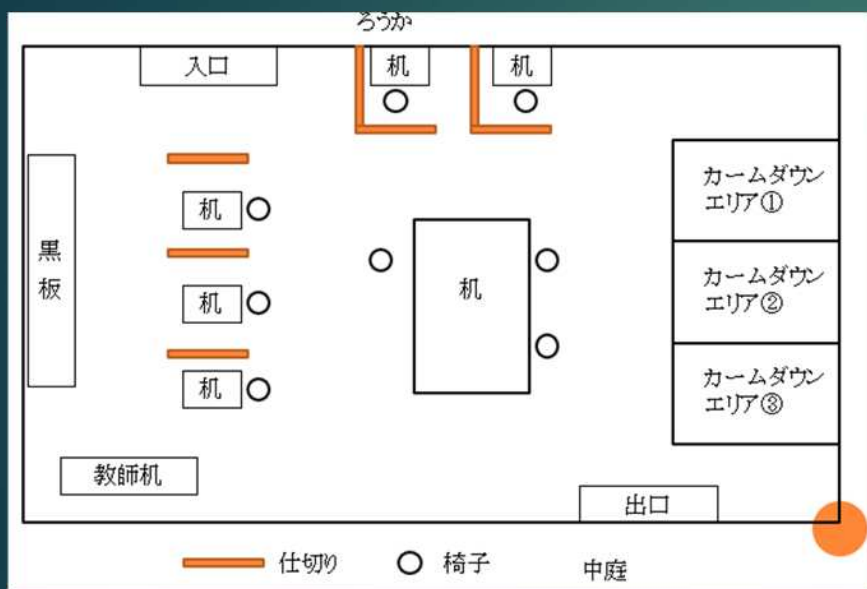
構造化…活動などを分かりやすくするため

構造化は、一人一人の実態に応じて調整を行う

- ① 物理的な構造化
- ② 時間の構造化
- ③ 活動の構造化
- ④ 一連の流れの構造化
- ⑤ 課題の構造化

① 物理的な構造化

物理的に分かりやすい境界
を設ける



どの場所で何をするのか

② 時間の構造化

10月21日(水)2時間目のスケジュール「算数」		
9:20~10:05		
1のはこ	自分でべんきょう	9:20から
	先生とべんきょう	9:30から
	きゅうけい	
2のはこ	自分でべんきょう	9:50から
	ふりかえり	10:00から

どのような活動が、どのよ
うな順番で続いていくのか

③ 活動の構造化

活動の流れを分かりやすくすることで、
学習に集中しやすくする

④ 一連の流れの構造化

手順のある事柄について、決まった手
順で行えるようにする



- ・ 左の箱の課題が終わったら、右の箱へ
- ・ 左の箱の中が空になったら終了

⑤ 課題の構造化

学習に取り組む一つ一つの課題について、どのような手順で、どのように行い、どうなると終わるのかをわかりやすくする



どのような手順、どのように行い、どうなると終わるのか

<自己研鑽のための参考資料>

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 (NISE)

- ・特別支援教育の基礎・基本
- ・障害種別の研究
- ・実践事例
- ・特別支援教育教材ポータルサイト 等

また、

- NISE 学びラボ (インターネットによる講座配信)
- 発達障害教育推進センター (発達障害の理解・支援 等)
- インクルDB (「合理的配慮」実践事例データベース)
- 特別支援教育リーフシリーズ (まずはここから① 等)
- すけっと (知的障害特別支援学級担任のための授業づくりサポートキット)

など 多数の資料が掲載されています。

この研修についての質問は、SEI-NETメールにて受け付けます。

宛先：西部教育事務所

※CCに管理職の先生をつけてください。

※質問等に関しては、市町教育委員会と共有します。

バックアップ

事務所員が直接訪問させていただき、学校の様々なニーズにお応えします。
まずは、お電話でご相談ください。また、西部教育事務所HP内の「バックアップ要請書」をご覧ください。